

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立松山高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の伝統や、現状・課題などを基に設定されている。広く意見を把握し、時代のニーズを分析して、学校の未来像について議論した上で、より明快かつ具体的な学校像へと工夫できると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、スーパーサイエンスハイスクールなど学校の特色を生かした重点目標が設定されている。やや網羅的な目標となっているため、中期的な視点に立ち、更に検討・整理して重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会を中心に、学校自己評価システムが運営されている。学校全体の目標を踏まえ、分掌・学年等で検討される方策等を学校全体のシートへフィードバックするなど組織間の連携を強化するとともに、評価項目が年度達成目標としてはやや抽象的なので、明確かつ具体的な目標となるように工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標を踏まえて分掌・学年等のシートが作成されている。分掌・学年等の目標と学校全体の年度目標との連鎖を明確にするとともに、やや抽象的・網羅的なものとなっている方策を、より具体的なものにして選択と集中を図り、教職員間で目標の達成イメージが更に共有できるよう評価指標を工夫して取組を検証することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえて、目指す学校像の実現に向けて取組を進めている。校長的的確なリーダーシップの下、課題を明確にして教職員の共通理解を深め、学校の特長を生かしながら学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	前年度の課題や学校関係者評価などを次年度の目標・方策の設定に生かしている。アンケートを積極的に活用して現状の把握と課題の明確化を行い、よく議論して、より具体的に焦点化した改善策を検討していただきたい。	
特記事項			